

平成 26 年度国産畜産物安心確保等支援事業
(快適性に配慮した家畜の飼養管理推進事業)

肉用牛の飼養実態アンケート調査報告書

平成 27 年 3 月

公益社団法人 畜産技術協会

目 次

I. 調査の目的	1
II. 調査の方法	1
III. 調査の結果	2
■ 基本事項	2
■ 飼養管理について	3
1. 観察・記録について	3
2. 給餌・給水について	4
3. 飼養環境について	7
4. 飼養施設について	9
5. 疾病・外傷等への対応	16
6. 外科的処置について	18
7. その他	24
アンケート調査用紙	27

I. 調査の目的

近年、アニマルウェルフェアは世界的に注目され、国際機関である OIE（国際獣疫事務局）において、肉用牛のアニマルウェルフェア基準が採択され、ISO（国際標準化機構）では技術仕様書の検討が行われるなど、国際基準の作成に向けて様々な取り組みが進められている。

我が国では、平成 22 年度に「アニマルウェルフェアの考え方に対応した家畜の飼養管理指針」を取りまとめ、畜産関係者等に対して普及啓発を行ってきたが、国際機関等での検討や消費者等の関心が高まっていることから、今後、更に的確な対応が求められると考えられる。

そこで、今後のアニマルウェルフェアへの的確な対応に向けた検討を行う際の基礎資料として活用するため、本アンケート調査を実施した。

II. 調査の方法

本調査は、一般社団法人全国肉用牛振興基金協会に委託して実施した。

調査に当たっては、平成 26 年 9 月 8 日付けで、一般社団法人全国肉用牛振興基金協会から、道府県畜産団体を通じて全国の肉用牛飼養農家にアンケート調査票を送付した。調査票送付に当たっては、平成 26 年 2 月 1 日現在での肉用牛農家数（畜産統計）に基づき比例配分した。ただし、肉用牛農家戸数が非常に少ない東京、神奈川、山梨、富山、福井、大阪、奈良、和歌山の都府県は調査対象外とした。

なお、アンケート送付数及び回答数は、以下のとおりである。

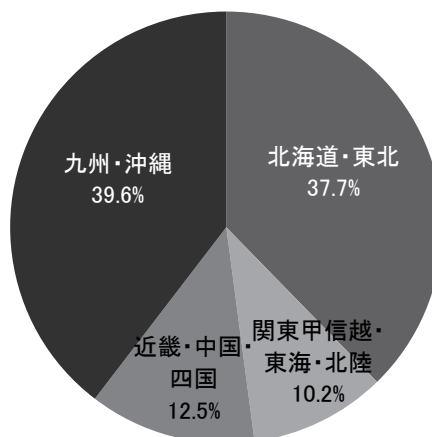
送付数	回答数	回答率
1,000 件	758 件	75.8%

Ⅲ. 調査の結果

■ 基本事項

1. 農場の所在地

	件数	割合
A 北海道・東北	286	37.7%
B 関東甲信越・東海・北陸	77	10.2%
C 近畿・中国・四国	95	12.5%
D 九州・沖縄	300	39.6%
合計	758	100.0%

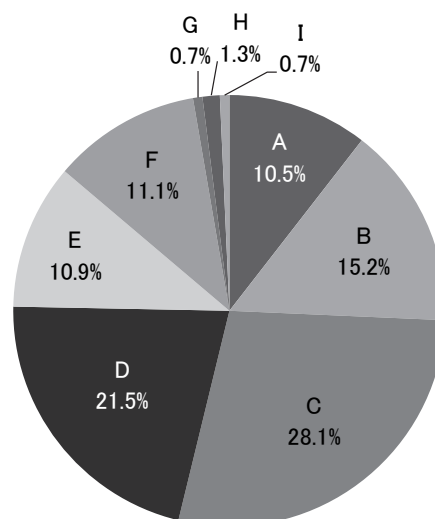


全国での回答数は758件で、地域別では「九州・沖縄」が300件(39.6%)を占め、次いで「北海道・東北」が286件(37.7%)、「近畿・中国・四国」が95件(12.5%)、「関東甲信越・東海・北陸」が77件(10.2%)であった。

これは、肉用牛飼養戸数の分布と概ね比例しており、「北海道・東北」、「九州・沖縄」で8割弱であった。

2. 牛の全飼養頭数は、現在何頭ですか

飼養頭数	件数	割合
A 1 ～ 9頭	80	10.5%
B 10 ～ 19頭	115	15.2%
C 20 ～ 49頭	213	28.1%
D 50 ～ 99頭	163	21.5%
E 100 ～ 199頭	83	10.9%
F 200 ～ 499頭	84	11.1%
G 500 ～ 999頭	5	0.7%
H 1,000 ～ 1,999頭	10	1.3%
I 2,000頭	5	0.7%
合計	758	100.0%



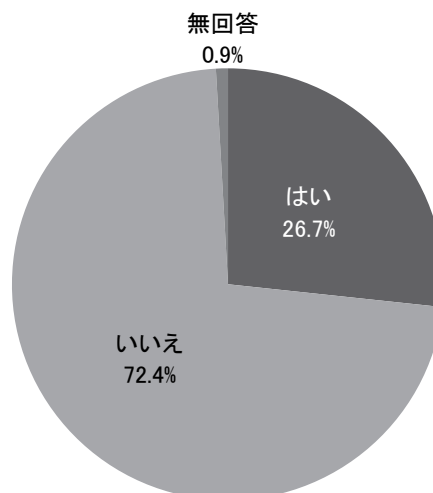
	平均	最大	最小
飼養頭数(頭)	130	7,200	1

飼養頭数の全国平均は130頭で、最大飼養頭数は7,200頭、最小飼養頭数は1頭であった。

飼養頭数規模の分布では、「20～49頭」が216件(28.1%)と最も多く、次いで「50～99頭」が163件(21.5%)と両者で約5割を占めている。一方、飼養頭数が「1,000頭を超える」大規模経営が15件(2.0%)あった。

3. 平成 23 年 3 月に作成された「アニマルウェルフェアの考え方に対応した肉用牛の飼養管理指針」を知っていますか

	件数	割合
A はい	202	26.7%
B いいえ	549	72.4%
C 無回答	7	0.9%
合計	758	100.0%



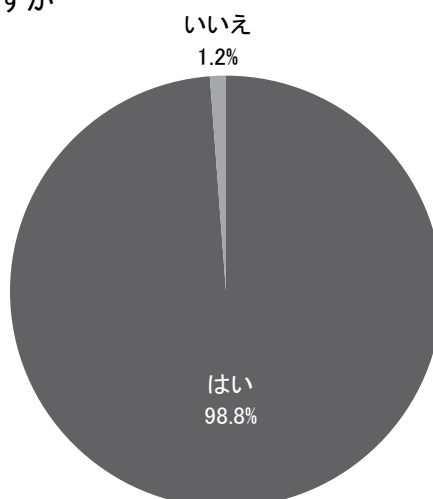
飼養管理指針を「知っている」と答えた農家は 202 件で、全体の 26.7%と低い割合であった。また、「知らない」と答えた農家は 549 件（72.4%）で「無回答」をあわせた 7 割強の農家が飼養管理指針を知らないという結果であった。

■ 飼養管理について

1. 観察・記録について

問 1. 1 日 1 回以上、牛の健康状態を観察していますか

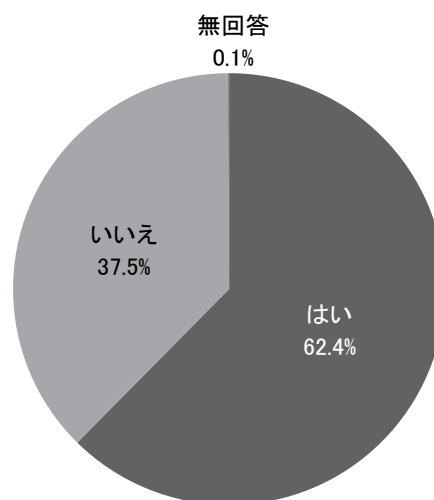
	件数	割合
A はい	749	98.8%
B いいえ	9	1.2%
C 無回答	0	0.0%
合計	758	100.0%



牛の健康状態については、「1 日 1 回以上観察している」と答えた農家が 749 件（98.8%）にのぼり、「観察していない」と答えた農家はわずか 9 件（1.2%）であった。

問2. 飼養管理（健康状態、病気や事故の発生の有無、治療やワクチン接種の履歴、死亡頭数等）に関する記録を毎日つけていますか

	件数	割合
A はい	473	62.4%
B いいえ	284	37.5%
C 無回答	1	0.1%
合計	758	100.0%

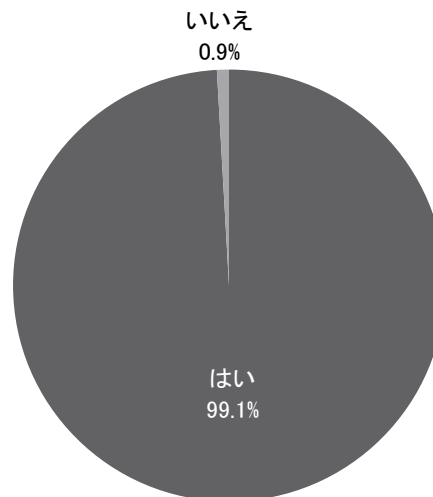


日々の飼養管理の記録については、「つけている」と答えた農家は473件（62.4%）に留まっており、「つけていない」と答えた農家が284件（37.5%）と4割近い結果であった。

2. 給餌・給水について

問3. 牛の発育段階等に応じた飼料を給与していますか

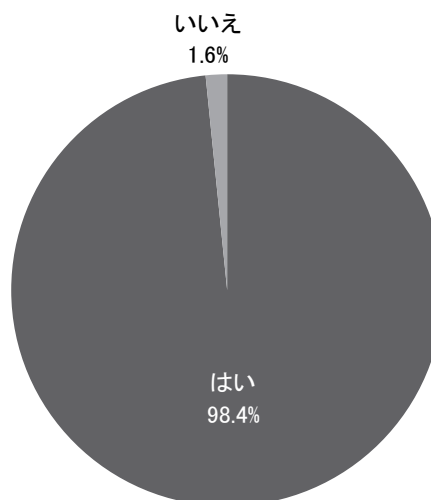
	件数	割合
A はい	751	99.1%
B いいえ	7	0.9%
C 無回答	0	0.0%
合計	758	100.0%



飼料給与については、「発育段階等に応じて給与している」と答えた農家が751件（99.1%）とほとんどを占めており、若干数ではあるが「していない」と答えた農家が7件（0.9%）あった。

問4. 毎日、新鮮な飼料と水を十分に給与していますか

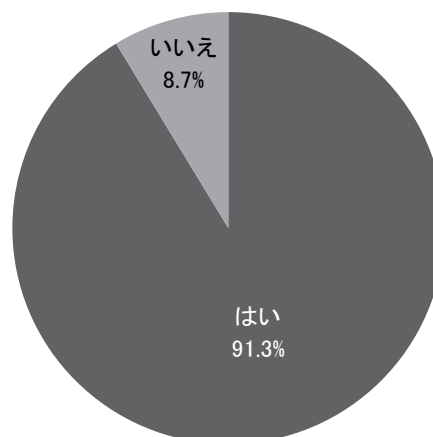
	件数	割合
A はい	746	98.4%
B いいえ	12	1.6%
C 無回答	0	0.0%
合計	758	100.0%



「毎日、新鮮な飼料と水を十分に給与している」と答えた農家が746件（98.4%）とほとんどを占めており、わずかではあるが「していない」と答えた農家が12件（1.6%）あった。

問5. 毎日、新鮮な飼料や水を給与するため、餌タンクや給水ライン、飼槽・飲水器等の点検・確認を行っていますか

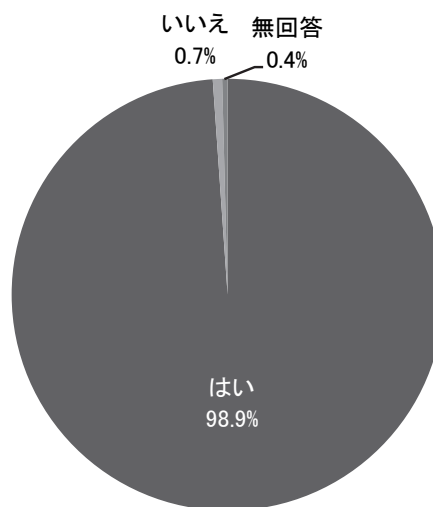
	件数	割合
A はい	692	91.3%
B いいえ	66	8.7%
C 無回答	0	0.0%
合計	758	100.0%



餌タンクや給水ライン、飼槽・飲水器等の点検・確認を「毎日、実施している」と答えた農家は692件（91.3%）に留まり、「毎日、実施していない」と答えた農家が66件（8.7%）あった。

問6. 飼槽や飲水器が、残渣や糞等で汚れた場合、清掃を行っていますか

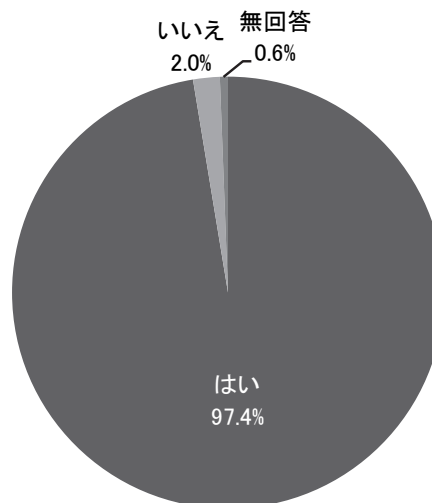
	件数	割合
A はい	750	98.9%
B いいえ	5	0.7%
C 無回答	3	0.4%
合計	758	100.0%



飼槽や飲水器の清掃については、「汚れた場合に行っている」と答えた農家が750件（98.9%）とほとんどを占めており、わずかではあるが「していない」又は「無回答」が8件（1.1%）あった。

問7. 牛が不自由なく飼料を食べたり、水を飲んだりできていますか

	件数	割合
A はい	738	97.4%
B いいえ	15	2.0%
C 無回答	5	0.6%
合計	758	100.0%

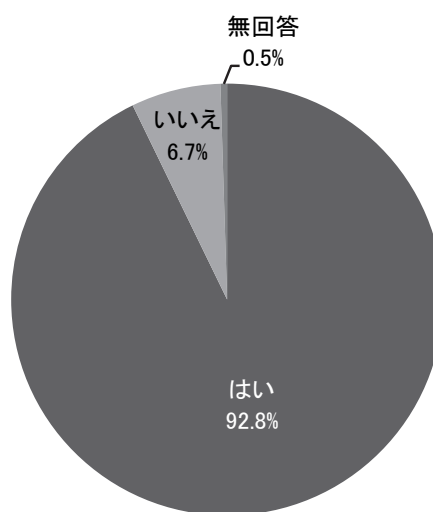


「牛が不自由なく飲食できている」と答えた農家が738件（97.4%）でほとんどが自由に飲食できているが、一部の農家20件（2.6%）で、飲食が制限されているようであった。

3. 飼養環境について

問8. 暑熱対策を行っていますか

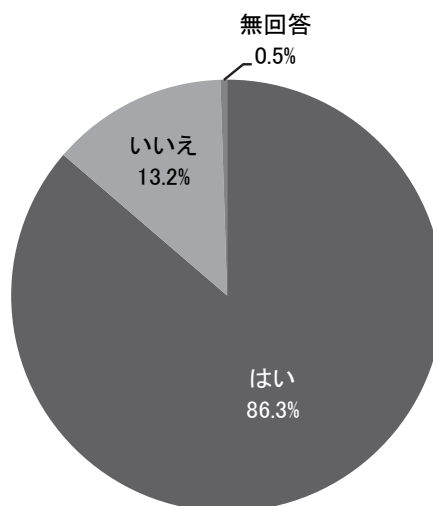
	件数	割合
A はい	703	92.8%
B いいえ	51	6.7%
C 無回答	4	0.5%
合計	758	100.0%



暑熱対策については、「行っている」と答えた農家が703件(92.8%)で9割強であったが、「行っていない」もしくは「無回答」が55件(7.2%)あった。

問9. 寒冷対策を行っていますか

	件数	割合
A はい	654	86.3%
B いいえ	100	13.2%
C 無回答	4	0.5%
合計	758	100.0%



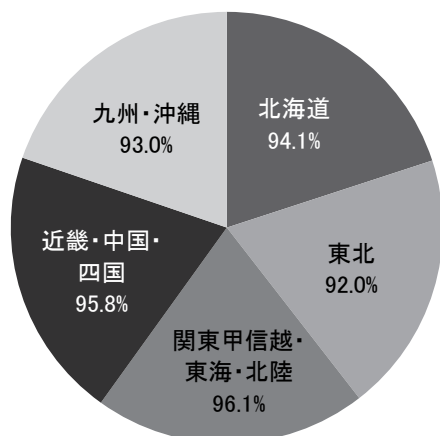
寒冷対策については、「行っている」と答えた農家が654件(86.3%)で8割強であったが、「行っていない」もしくは「無回答」が104件(13.7%)あった。

なお、問8・9に関して、地域別に暑熱・寒冷対策の有無に差があるかどうかを見たところ、寒冷対策は北海道が94.1%と他の地域に比べて高いものの、その他については、次表のとおり地域別での顕著な差は認められなかった。

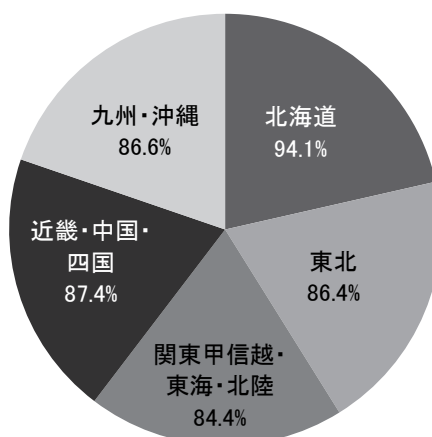
地域別の暑熱対策・寒冷対策の実施率

	暑熱対策率	寒冷対策率
A 北海道	94.1%	94.1%
B 東北	92.0%	86.4%
C 関東甲信越・東海・北陸	96.1%	84.4%
D 近畿・中国・四国	95.8%	87.4%
E 九州・沖縄	93.0%	86.6%

暑熱対策率

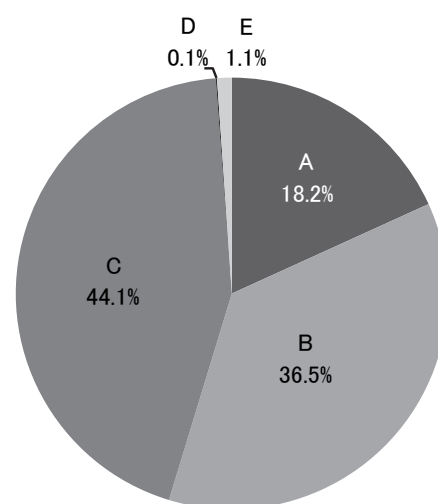


寒冷対策率



問 10. 牛舎内の空調設備や照明設備等の点検・整備は行っていますか

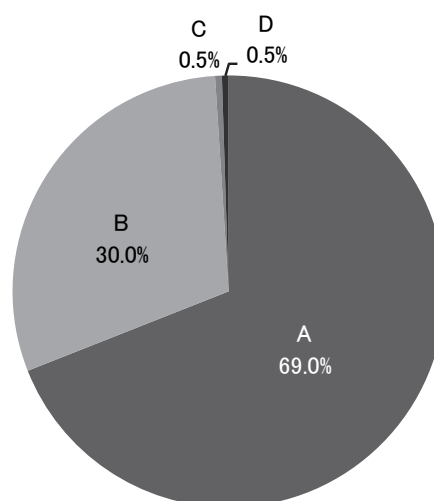
	件数	割合
A 定期的に点検・整備している	138	18.2%
B 使う必要がある際に点検・整備している	277	36.5%
C 点検は行っていないが壊れたら整備している	334	44.1%
D 点検・整備はせず、壊れたままになっている	1	0.1%
E 無回答	8	1.1%
合計	758	100.0%



牛舎内の空調設備や照明設備等については、「定期的に点検・整備を行っている」と答えた農家が138件（18.2%）に留まり、「使う必要がある際」又は「壊れたら整備している」と答えた農家をあわせると611件（80.6%）と8割を占めている。一方、「点検・整備をしていない」と答えた農家はわずか1件（0.1%）であった。

問 11. 牛舎内の明るさは確保できていますか

	件数	割合
A 照明の設置や窓の開閉などにより確保できている	523	69.0%
B 多少暗いものの、牛の活動や管理者が作業を行う分には問題がない	227	30.0%
C 暗いが、そのままにしている	4	0.5%
D 無回答	4	0.5%
合計	758	100.0%



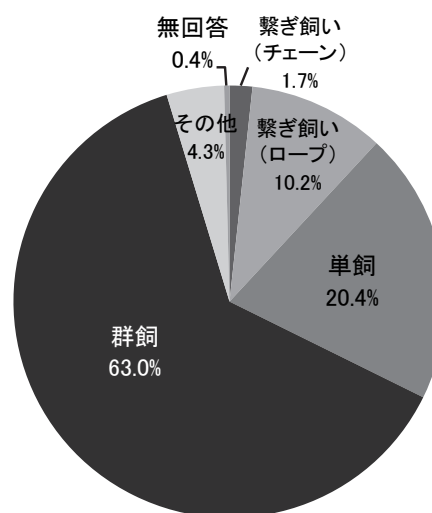
牛舎内の明るさについては、「十分な明るさが確保できている」と答えた農家は 523 件 (69.0%) と 7 割弱であり、「多少暗いものの、作業を行う分には問題ない」と答えた農家が 227 件 (30.0%) であった。一方で、「暗いままにしている」と答えた農家は、わずかではあるが 4 件 (0.5%) あった。

4. 飼養施設について

問 12. 牛の主な飼養方法は、次のどれにあてはまりますか

(1) 子牛

	件数	割合
A 繋ぎ飼い (チェーン)	12	1.7%
B 繋ぎ飼い (ロープ)	72	10.2%
C 単飼	143	20.4%
D 群飼	442	63.0%
E その他	30	4.3%
F 無回答	3	0.4%
合計	702	100.0%



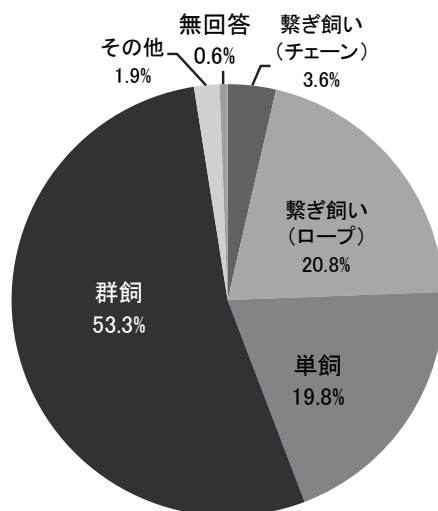
子牛の飼養方法については、「群飼」が 442 件 (63.0%) で最も多く、次いで「単飼」が 143 件 (20.4%) であった。「繋ぎ飼い」は、「ロープ」が 72 件 (10.2%)、「チェーン」が 12 件 (11.9%) であわせて 84 件 (22.1%) であった。

また、育成段階の違い等により、2 種類以上の飼い方を併用している場合は、「その他」で整理した。「その他」の主な回答としては、「単飼+群飼」の 12 件、「繋ぎ (ロープ) +群飼」の 7 件、「繋ぎ (ロープ) +単飼」の 4 件があった。

なお、無回答は他の問で該当牛について回答しているが、問 12 では回答していない数である。

(2) 育成牛

	件数	割合
A 繋ぎ飼い (チェーン)	25	3.6%
B 繋ぎ飼い (ロープ)	143	20.8%
C 単飼	136	19.8%
D 群飼	366	53.3%
E その他	13	1.9%
F 無回答	4	0.6%
合計	687	100.0%



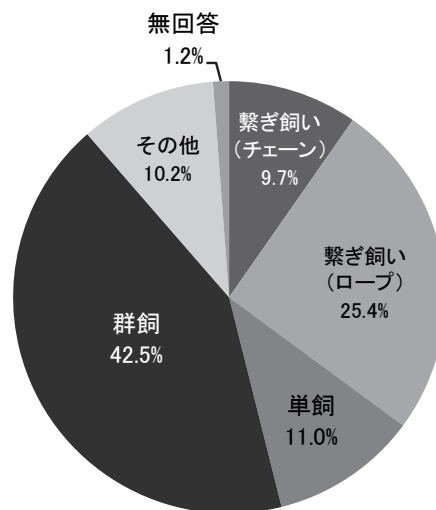
育成牛の飼養方法については、「群飼」が366件(53.3%)と半数以上を占めた。次いで「繋ぎ飼い(ロープ)」が143件(20.8%)、「単飼」が136件(19.8%)であった。「繋ぎ飼い」は「チェーン」の25件と「ロープ」の143件をあわせると168件(24.4%)であった。

また、2種類以上の飼い方を併用している場合は、「その他」で整理した。「その他」の主な回答としては、「放牧」の3件、「繋ぎ(ロープ) + 単飼」の2件があった。

なお、無回答は他の間で該当牛について回答しているが、問12では回答していない数である。

(3) 繁殖牛

	件数	割合
A 繋ぎ飼い (チェーン)	63	9.7%
B 繋ぎ飼い (ロープ)	166	25.4%
C 単飼	72	11.0%
D 群飼	278	42.5%
E その他	67	10.2%
F 無回答	8	1.2%
合計	654	100.0%



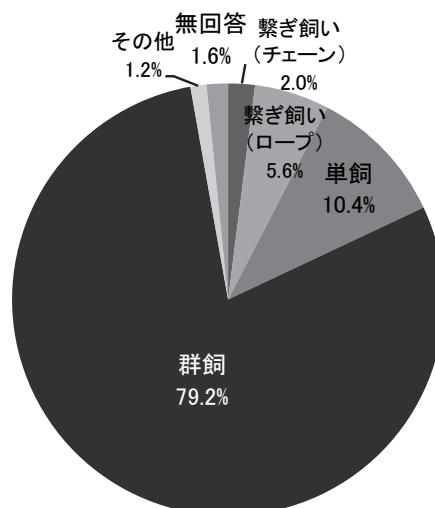
繁殖牛の飼養方法については、「群飼」が278件(42.5%)と4割強になっている。次いで「繋ぎ飼い(ロープ)」が166件(25.4%)、「単飼」が72件(11.0%)であった。「繋ぎ飼い」は「チェーン」の63件と「ロープ」の166件をあわせると229件(35.0%)であった。

また、繁殖牛の場合、分娩前・後では飼養の仕方が違うため、複数の飼養方法であるという回答が多く、複数の方法を併用している場合は、「その他」で整理した。「その他」の主な回答としては、「繋ぎ(ロープ) + 群飼」の16件、「繋ぎ(ロープ) + 単飼」の13件、「単飼 + 群飼」の13件、「繋ぎ(チェーン) + 群飼」の6件、「繋ぎ(ロープ) + 放牧」の5件があった。

なお、無回答は他の間で該当牛について回答しているが、問12では回答していない数である。

(4) 肥育もと牛

	件数	割合
A 繋ぎ飼い (チェーン)	5	2.0%
B 繋ぎ飼い (ロープ)	14	5.6%
C 単飼	26	10.4%
D 群飼	198	79.2%
E その他	3	1.2%
F 無回答	4	1.6%
合計	250	100.0%



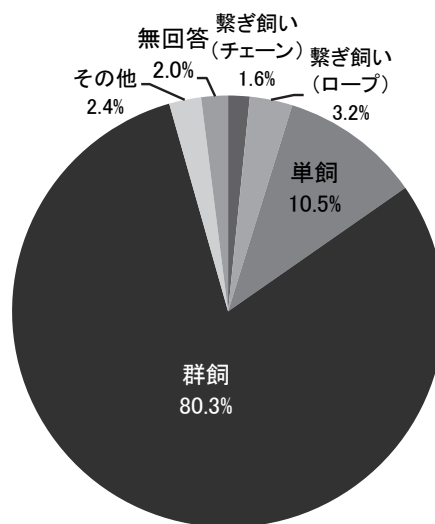
肥育もと牛の飼養方法については、肥育農家戸数が比較的少ないことから、データ数がやや少ないが、「群飼」が198件（79.2%）と最も多く8割弱であった。

また、「その他」については、「単飼と群飼の併用」が2件、「繋ぎ（チェーン）と群飼の併用」が1件であった。

なお、無回答は他の間で該当牛について回答しているが、問12では回答していない数である。

(5) 肥育牛

	件数	割合
A 繋ぎ飼い (チェーン)	4	1.6%
B 繋ぎ飼い (ロープ)	8	3.2%
C 単飼	26	10.5%
D 群飼	199	80.3%
E その他	6	2.4%
F 無回答	5	2.0%
合計	248	100.0%



肥育牛の飼養方法については、肥育農家が比較的少なかったことから、データ数がやや少ないが、「群飼」が199件（80.3%）と最も多く8割を超えた。

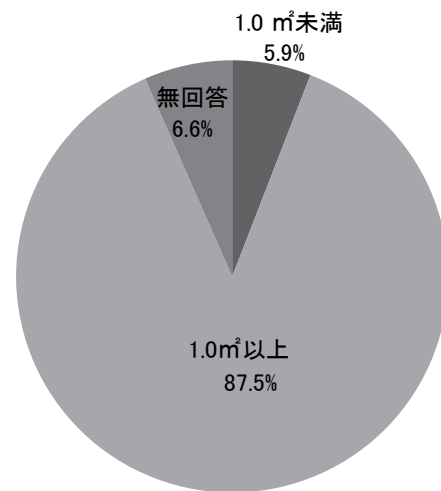
また、「その他」の内訳については、「単飼と群飼の併用」が2件、「繋ぎ（チェーン）と群飼の併用」が1件、「繋ぎ（チェーンかロープかは不明）と群飼の併用」が2件であった。

なお、無回答は他の間で該当牛について回答しているが、問12では回答していない数である。

問 13. 主な飼養方法における牛 1 頭当たりの飼養面積は、次のどれに当てはまりますか

(1) 子牛

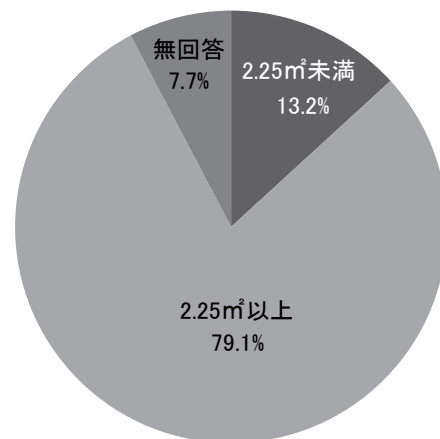
	件数	割合
A 1.0m ² 未満	41	5.9%
B 1.0m ² 以上	612	87.5%
C 無回答	46	6.6%
合計	699	100.0%



子牛 1 頭当たりの飼養面積については、「1.0m²以上」が 612 件（87.5%）と 9 割弱を占めていた。

(2) 育成牛

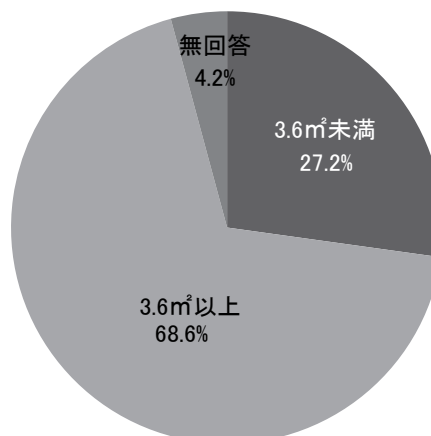
	件数	割合
A 2.25m ² 未満	90	13.2%
B 2.25m ² 以上	540	79.1%
C 無回答	53	7.7%
合計	683	100.0%



育成牛 1 頭当たりの飼養面積については、「2.25m²以上」が 540 件（79.1%）と 9 割弱を占めていた。

(3) 繁殖牛

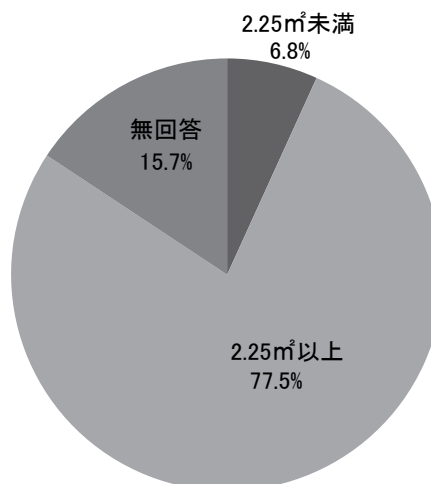
	件数	割合
A 3.6m ² 未満	177	27.2%
B 3.6m ² 以上	446	68.6%
C 無回答	27	4.2%
合計	650	100.0%



繁殖牛1頭当たりの飼養面積については、「3.6m²以上」が446件(68.6%)と7割を切り、「3.6m²未満」が177件(27.2%)であった。

(4) 肥育もと牛

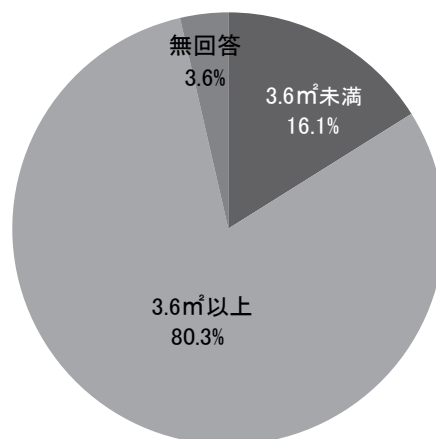
	件数	割合
A 2.25m ² 未満	17	6.8%
B 2.25m ² 以上	193	77.5%
C 無回答	39	15.7%
合計	249	100.0%



肥育もと牛1頭当たりの飼養面積については、「2.25m²以上」が193件(77.5%)で8割近くを占めていた。

(5) 肥育牛

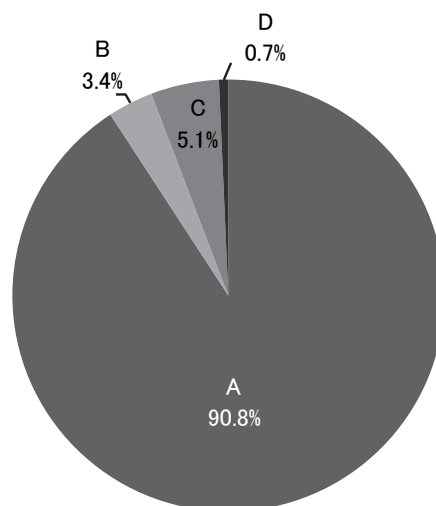
	件数	割合
A 3.6m ² 未満	40	16.1%
B 3.6m ² 以上	199	80.3%
C 無回答	9	3.6%
合計	248	100.0%



肥育牛1頭当たりの飼養面積は、「3.6m²以上」が199件（80.3%）で8割以上を占めていた。

問14. 牛舎で敷料を使用していますか

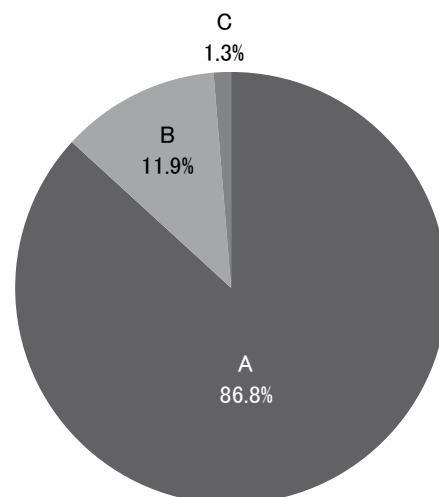
	件数	割合
A 使用している	688	90.8%
B 敷料の代わりになるもの（牛床マット等）を使用している	26	3.4%
C 使用していない	39	5.1%
D 無回答	5	0.7%
合計	758	100.0%



牛舎内の敷料については、「使用している」と答えた農家は9割以上あり、「牛床マット等敷料の代わりになるものを使用している」と答えた農家を含めると714件（94.2%）であった。

問 15. 牛舎内の床の状態は、次のどれに当てはまりますか

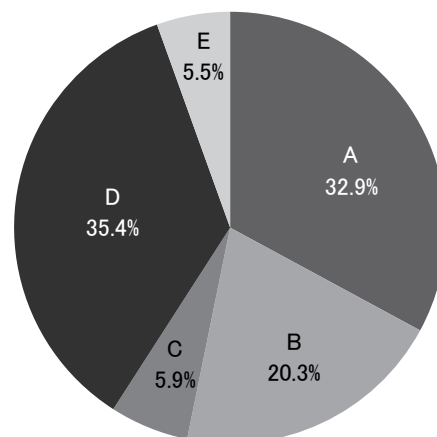
	件数	割合
A 基本的に寝床となる部分などは乾燥した状態	658	86.8%
B 全面が過度に湿り、糞尿がたまっていたりする状態	90	11.9%
C 無回答	10	1.3%
合計	758	100.0%



牛舎内の床の状態については、「乾燥した状態」と答えた農家は 658 件（86.8%）と 9 割弱で、「糞尿が溜まっていたりする状態」と答えた農家が 90 件（11.9%）と 1 割強あった。

問 16. パドックや放牧地に牛を放していますか

	件数	割合
A 毎日放している	249	32.9%
B 毎日ではないが放している	154	20.3%
C パドックや放牧地を有しているが放していない	45	5.9%
D パドックや放牧地が無いので放していない	268	35.4%
E 無回答	42	5.5%
合計	758	100.0%

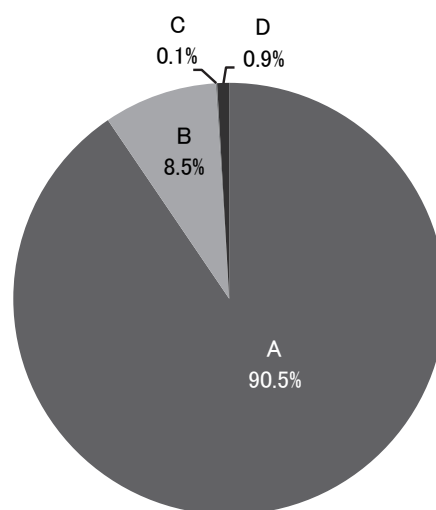


パドックや放牧地に牛を放しているかどうかについては、「パドックや放牧地が無いので放していない」と答えた農家が 268 件（35.4%）と最も多く、次いで「毎日放している」が 249 件（32.9%）、「毎日ではないが放している」が 154 件（20.3%）であった。「毎日放している」と「毎日ではないが放している」をあわせると半数以上が何らかの形で牛をパドック等に放しているとの回答であった。

5. 疾病・外傷等への対応

問 17. 牛の怪我や疾病が発生した場合、迅速な治療等を行っていますか

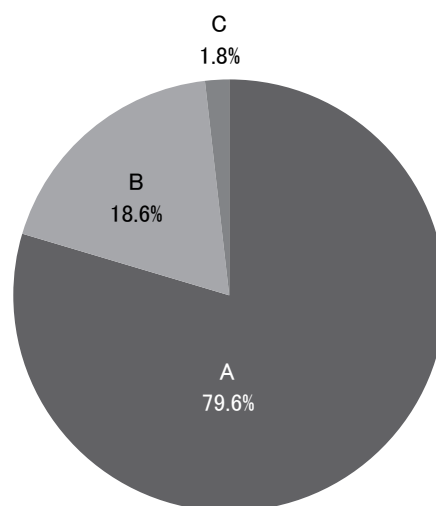
	件数	割合
A 行っている	686	90.5%
B 多少の外傷や症状が軽ければ経過を見て悪化したら治療している	64	8.5%
C 行っていない	1	0.1%
D 無回答	7	0.9%
合計	758	100.0%



牛の怪我や疾病が発生した場合、「迅速な治療等を行っている」と答えた農家が 686 件 (90.5%) であった。「経過観察して悪化したら治療している」を含めると、750 件 (99.0%) とほとんどの農家で治療を行っているとの回答であった。

問 18. 外傷や疾病の牛が出た場合に他の牛と分けて管理していますか

	件数	割合
A 重症の場合、単房などに入れて分けて管理している	603	79.6%
B 分けていない	141	18.6%
C 無回答	14	1.8%
合計	758	100.0%



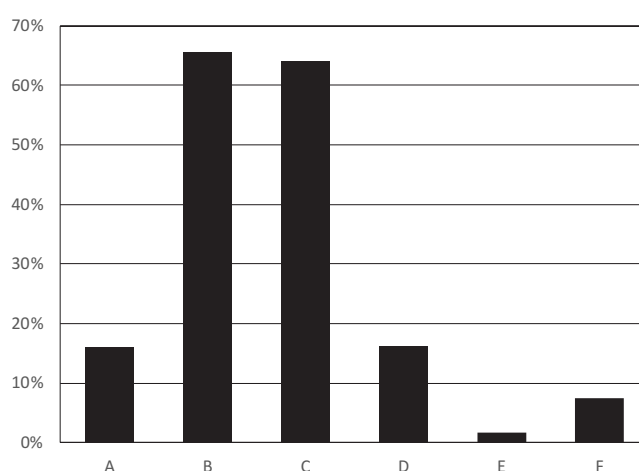
外傷や疾病の牛が出た場合、「単房等で他の牛と分けて管理している」と答えた農家は 603 件 (79.6%) であり、「分けていない」と答えた農家は 141 件 (18.6%) であった。

問 19. 農場内に病原体等を侵入させないための防疫対策をとっていますか（複数回答可）

	件数	割合	順位
A 車両消毒などに必要な防疫施設を設置している	121	16.0%	4
B 踏込消毒槽を牛舎の出入口に置くなどの防疫対策に心がけている	497	65.6%	1
C 消石灰の散布を行っている	486	64.1%	2
D 牛舎内に野生動物が侵入しないようにネット等を張っている	123	16.2%	3
E その他	13	1.7%	6
F 行っていない	56	7.4%	5

※ 回答農場数 758 を母数とした。

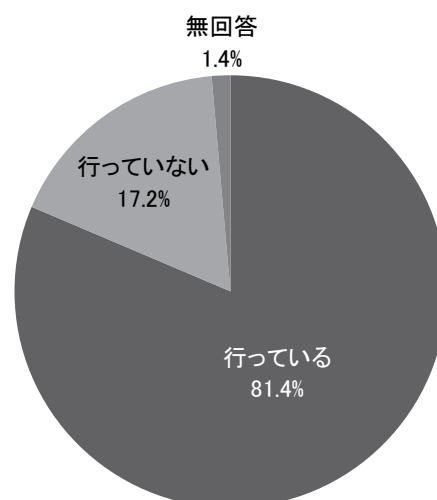
農場内の防疫対策については、「踏込消毒槽を牛舎の出入口に置くなどの防疫対策を心掛けている」と答えた農家が 497 件（65.6%）、次いで「消石灰の散布」が 486 件（64.1%）、「牛舎内に野生動物が侵入しないようにネット等を張っている」が 123 件（16.2%）、「車両消毒などに必要な防疫施設を設置している」が 121 件（16.0%）と、ほとんどの農場において何らかの防疫対策を実施しているが、一方で、若干数だが「何も行っていない」と答えた農家が 56 件（7.4%）であった。



なお、「その他」の主な回答としては、「立入禁止等の看板を設置」の 5 件、「定期的な消毒の実施」の 5 件があった。

問 20. 蹄病予防等のために削蹄を行っていますか

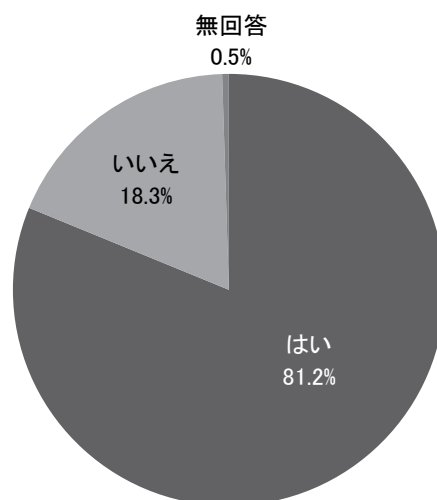
	件数	割合
A 行っている	617	81.4%
B 行っていない	130	17.2%
C 無回答	11	1.4%
合計	758	100.0%



削蹄については、「行っている」と答えた農家が 617 件（81.4%）と 8 割強であったが、「行っていない」と答えた農家が 130 件（17.2%）あった。

問 21. 1 年 1 回以上、削蹄を行っていますか

	件数	割合
A はい	501	81.2%
B いいえ	113	18.3%
C 無回答	3	0.5%
合計	617	100.0%



削蹄を「1年1回以上行っている」と答えた農家は501件（81.2%）であり、「行っていない」と答えた農家が113件（18.3%）であった。

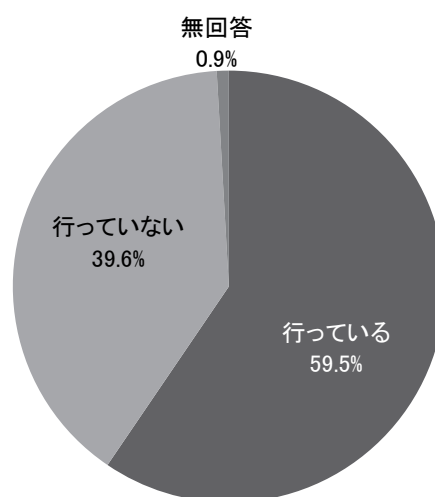
なお、この間については、問20で「削蹄を行っている」と回答した617件を母数とした。

また、問20で「削蹄を行っていない」と答えた農家がこの間に回答していた場合、件数から除いて集計を行った。

6. 外科的処置について

問 22. 農場内で、除角を行っていますか

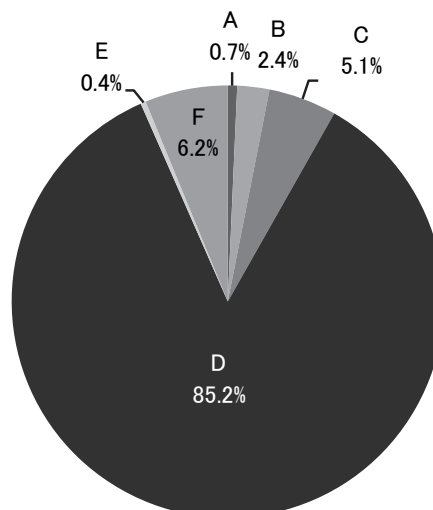
	件数	割合
A 行っている	451	59.5%
B 行っていない	300	39.6%
C 無回答	7	0.9%
合計	758	100.0%



除角については、「行っている」と答えた農家が451件（59.5%）であり、「行っていない」と答えた農家は300件（39.6%）であった。

問 23. 除角を行う時期は、主にいつ頃ですか

	件数	割合
A 生後 7 日以内	3	0.7%
B 生後 8 日以上 1 カ月 齢未 満	11	2.4%
C 1 カ月 齢以上 3 カ月 齢未 満	23	5.1%
D 3 カ月 齢以上	384	85.2%
E その他 (冬に行う)	2	0.4%
F 無回答	28	6.2%
合 計	451	100.0%



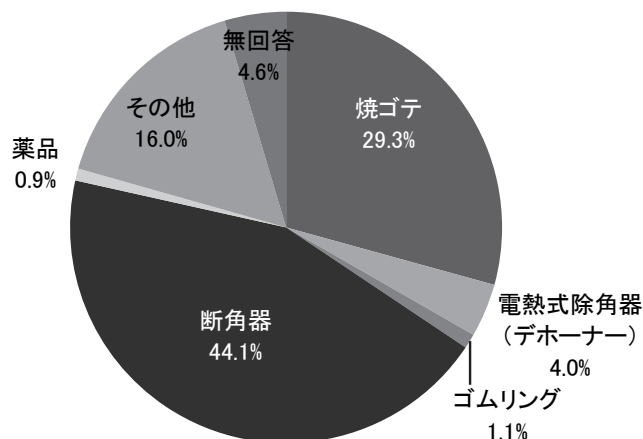
除角を行っている農場における除角の時期は、「3 カ月 齢以上」が 384 件 (85.2%) と最も多く、次いで、「1 カ月 齢以上 3 カ月 齢未 満」が 23 件 (5.1%) であり、「生後 1 カ月 齢未 満」で行っている農家は 14 件 (3.1%) と少数であった。

また、「その他」として、「月 齢ではなく、病害虫等による切口への感染・化膿を防ぐため、冬に行っている」と答えた農家が 2 件あった。

なお、この問については、問 22 で「除角を行っている」と回答した 451 件を母数とした。

問 24. 除角を行う場合、主にどのような方法で行っていますか

	件数	割合
A 焼ゴテ	132	29.3%
B 電熱式除角器 (デホーナー)	18	4.0%
C ゴムリング	5	1.1%
D 断角器	199	44.1%
E 薬品	4	0.9%
F その他	72	16.0%
G 無回答	21	4.6%
合 計	451	100.0%

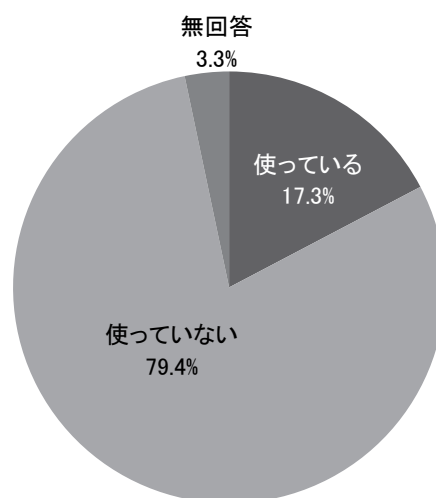


除角の方法については、「断角器」が 199 件 (44.1%) で最も多く、次いで「焼ゴテ」が 132 件 (29.3%) であったが、複数の方法 (例えば、最初に断角器で切断し、その後焼ゴテを使用する等) で行っている場合は、「その他」とした。

なお、「その他」の主な回答として、「ワイヤーソー」の 41 件 (56.9%)、「断角器+焼ゴテ」の 8 件 (11.1%)、「ワイヤー+焼ゴテ」の 6 件 (8.3%) 等があった。

問 25. 除角を行う時に麻酔を使っていますか

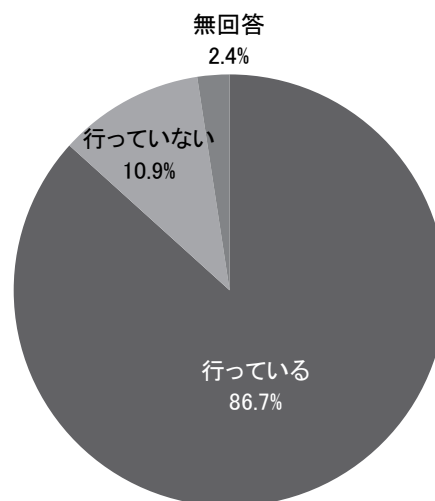
	件数	割合
A 使っている	78	17.3%
B 使っていない	358	79.4%
C 無回答	15	3.3%
合計	451	100.0%



除角を行う際に「麻酔を使っていない」と答えた農家は 358 件 (79.4%) で 8 割弱を占めた。「麻酔を使っている」と答えた農家は 78 件 (17.3%) であった。

問 26. 農場内で、去勢を行っていますか

	件数	割合
A 行っている	657	86.7%
B 行っていない	83	10.9%
C 無回答	18	2.4%
合計	758	100.0%

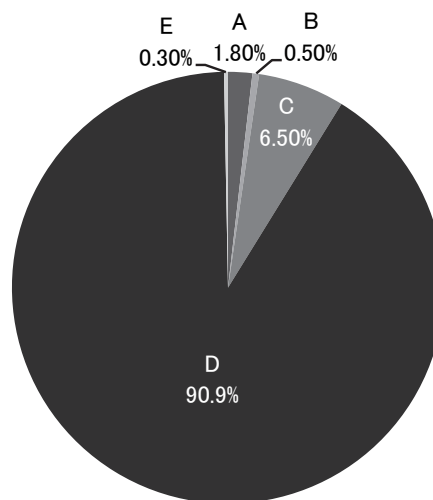


農場内で「去勢を行っている」と答えた農家は 657 件 (86.7%) であった。

ただし、去勢については、飼養している肉用牛のステージにより去勢すべき該当牛がいるかどうかが変わるため、繁殖経営で初生牛を出荷している場合や、肥育専業で既に去勢された子牛を導入している農家では「行っていない」との回答になった。

問 27. 去勢を行う時期は、主にいつ頃ですか

	件数	割合
A 生後 7 日以内	12	1.8%
B 生後 8 日以上 1 カ月 齢未 満	3	0.5%
C 1 カ月 齢以上 3 カ月 齢未 満	43	6.5%
D 3 カ月 齢以上	597	90.9%
E 無回答	2	0.3%
合 計	657	100.0%

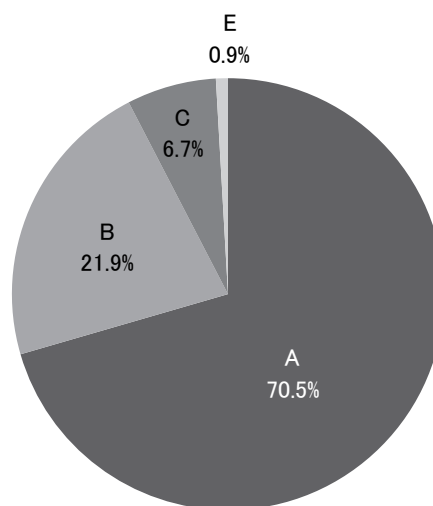


去勢を行う時期については、「3 カ月 齢以上」と答えた農家が 597 件（90.9%）とほとんどを占めた。

なお、この間については、問 26 で「去勢を行っている」と答えた 657 件を母数とした。

問 28. 去勢を行う場合、主にどのような方法で行っていますか

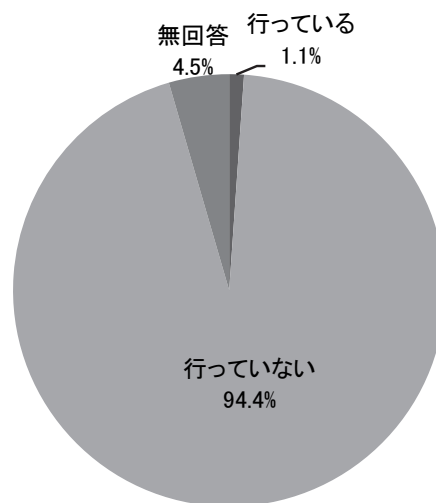
	件数	割合
A 外科手術	463	70.5%
B 無血去勢法	144	21.9%
C ゴムリングによる去勢	44	6.7%
D その他	0	0%
E 無回答	6	0.9%
合 計	657	100.0%



去勢の方法については、「外科手術」と答えた農家が 463 件（70.5%）と最も多く、次いで「無血去勢法」が 144 件（21.9%）、「ゴムリング」が 44 件（6.7%）であった。

問 29. 農場内で、断尾を行っていますか

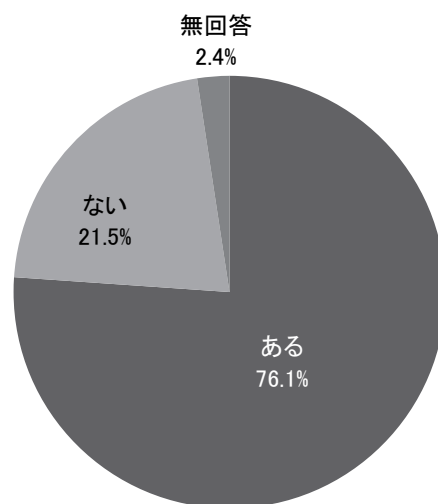
	件数	割合
A 行っている	8	1.1%
B 行っていない	716	94.4%
C 無回答	34	4.5%
合計	758	100.0%



断尾については、「行っている」と答えた農家はわずか8件で、「行っていない」と答えた農家が716件（94.4%）と大多数であった。

問 30. あなたの農場内で、牛に初めて鼻環（鼻木）を装着するための処置を行うことがありますか

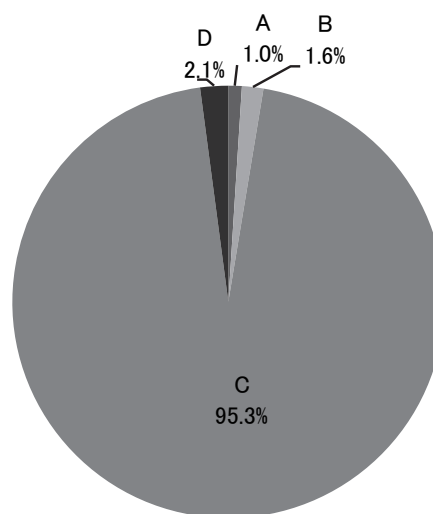
	件数	割合
A ある	577	76.1%
B ない	163	21.5%
C 無回答	18	2.4%
合計	758	100.0%



鼻環については、「装着する処置を行っている」と答えた農家が577件（76.1%）であった。

問 31. 牛に初めて鼻環（鼻木）を装着するのは、主にいつ頃ですか

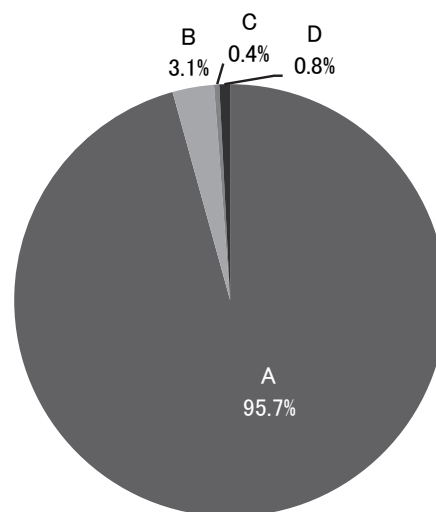
	件数	割合
A 生後 7 日以内	6	1.0%
B 生後 8 日以上 1 カ月齢未満	9	1.6%
C 1 カ月齢以上	550	95.3%
D 無回答	12	2.1%
合計	577	100.0%



鼻環の装着時期については、「1 カ月齢以上」が最も多く 550 件（95.3%）であった。

問 32. 子牛が初乳を飲んでいるのを、確認していますか

	件数	割合
A 確認している	624	95.7%
B 特に確認はしてないが、母牛と一緒にいるので飲んでいると考えられる	20	3.1%
C 確認していない	3	0.4%
D 無回答	5	0.8%
合計	652	100.0%

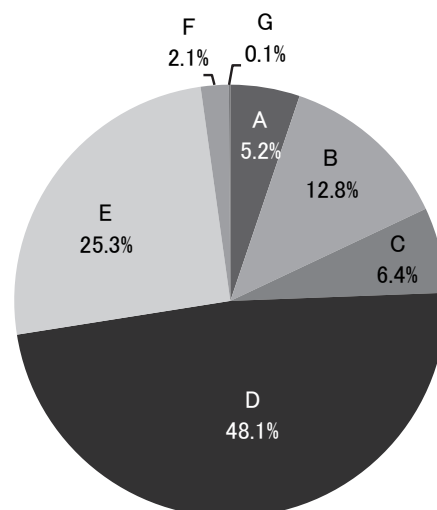


子牛が初乳を飲んでいるかについて、「確認している」もしくは「特に確認はしてないが、母牛と一緒にいるため飲んでいると考えられる」と答えた農家は、あわせて 644 件（98.8%）にのぼった。また、わずかではあるが、「確認していない」が 3 件（0.4%）あった。

なお、問 33 を回答し、かつ、繁殖雌牛を飼養していることから、明らかに子牛がいると推定されるにもかかわらず、問 32 で回答がなかった件数を「無回答」とした。

問 33. 離乳（母子分離）を行うのは、主にいつ頃ですか

	件数	割合
A 生後 3 日以内	34	5.2%
B 生後 4 日以上 7 日以内	84	12.8%
C 生後 8 日以上 1 カ月 齢未 満	42	6.4%
D 1 カ月 齢以上 4 カ月 齢未 満	316	48.1%
E 4 カ月 齢以上 6 カ月 齢未 満	166	25.3%
F 6 カ月 齢以上	14	2.1%
G 無回答	1	0.1%
合 計	657	100.0%



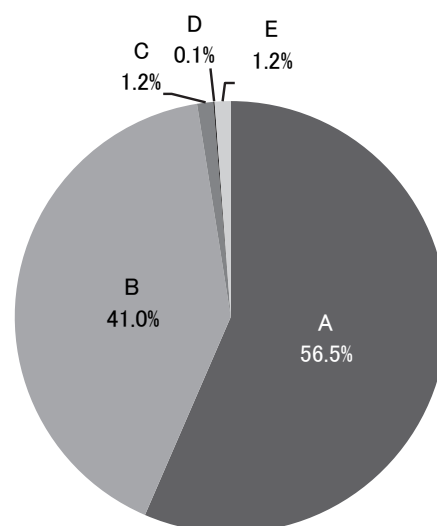
離乳時期については、農場によってかなりバラツキがあり、「1 カ月 齢以上 4 カ月 齢未 満」が 316 件（48.1%）と最も多く、次いで「4 カ月 齢以上 6 カ月 齢未 満」が 166 件（25.3%）であった。

なお、この回答の中には、繁殖雌牛は飼養しておらず、初生牛を外部導入し、育成・肥育を行っている農場の回答も含まれている。従って、問 32 の合計と問 33 の合計は一致しない。

7. その他

問 34. 管理者が牛に近づいたときの牛はどのような反応をしますか

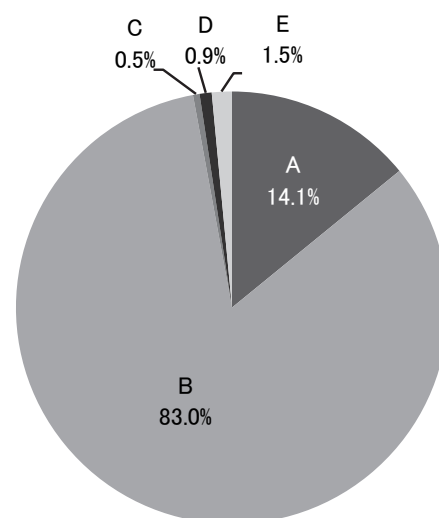
	件数	割合
A そばに寄って触っても逃げない	428	56.5%
B 比較的近くまで逃げないが一定の距離以上は近づけない	311	41.0%
C 近づこうとすると、遠くからでも逃げる	9	1.2%
D 近づくと威嚇してくる	1	0.1%
E 無回答	9	1.2%
合 計	758	100.0%



管理者が牛に近づいたときの牛の反応については、「触っても逃げない」と答えた農家が 428 件（56.5%）と 6 割弱を占め、「比較的近くまで逃げないが一定距離以上近づけない」が 311 件（41.0%）であった。一方、「遠くからでも逃げる」、「近づくと威嚇される」があわせて 10 件（1.3%）あった。

問 35. 牛を移動させる際に何か道具を使っていますか

	件数	割合
A 使っていない	107	14.1%
B ロープを使って誘導している	629	83.0%
C 棒などで叩いて誘導している	4	0.5%
D その他	7	0.9%
E 無回答	11	1.5%
合計	758	100.0%

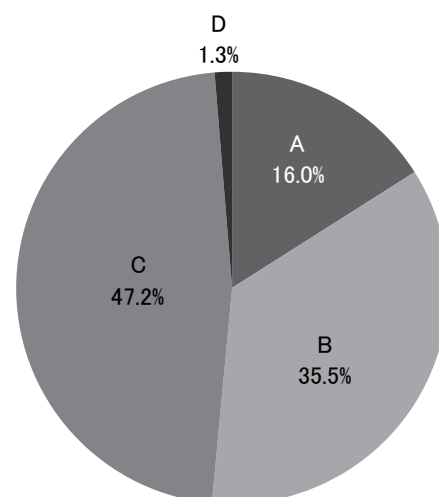


牛の移動に際しては、「ロープを使って誘導している」と答えた農家が 629 件（83.0%）と 8 割以上を占め、「使っていない」が 107 件（14.1%）であった。

なお、「その他」の主な回答として、比較的規模の大きい農家における重機及び車での移動があった。

問 36. 身繕いできる器具やブラッシングする機会がありますか（複数回答可）

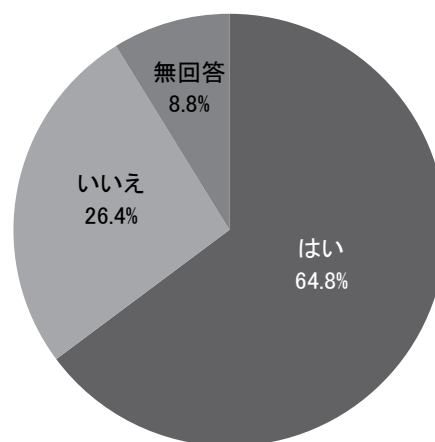
	件数	割合
A カウブラシ等を設置している	127	16.0%
B 定期的にブラッシングしている	282	35.5%
C ない。ブラッシングも出荷等の特別な時にしかない	375	47.2%
D 無回答	10	1.3%
合計	794	100.0%



身繕いの器具やブラッシングについては、「出荷等の特別なときのみしか行っていない」と答えた農家が 375 件（47.2%）と最も多かった。次いで「定期的にブラッシングをしている」が 282 件（35.5%）、「カウブラシ等の設置」が 127 件（16.0%）であり、両者をあわせると 409 件（51.5%）で半数を超える回答であった。

問 37. 将来的に農場での飼養管理を考える際に、アニマルウェルフェアを検討する必要があると思いますか

	件数	割合
A はい	491	64.8%
B いいえ	200	26.4%
C 無回答	67	8.8%
合計	758	100.0%



アニマルウェルフェアを「検討する必要がある」と答えた農家は 491 件（64.8%）と 6 割を超えたが、「必要ない」と答えた農家も 200 件（26.4%）と 3 割弱あった。

また、「無回答」の中には、「？」マーク、あるいは「意味が分からない」旨のコメントを記した「アニマルウェルフェア」の意味を理解していないと推定される回答が 17 件（無回答のうち 25%）あった。

※ 基本事項の「アニマルウェルフェアの考え方に対応した肉用牛の飼養管理指針を知っていますか」との問いと問 37 との関係性を調べた結果、下表のとおりであった。

		アニマルウェルフェアの考え方に対応した肉用牛の飼養管理指針を知っていますか			
		はい	いいえ	無回答	計
将来的に農場での飼養管理を考える際に、アニマルウェルフェアを検討する必要があると思いますか	はい	159 (21.0%)	329 (43.4%)	3 (0.4%)	491 (64.8%)
	いいえ	36 (4.8%)	164 (21.6%)	0 (0%)	200 (26.4%)
	無回答	7 (0.9%)	56 (7.4%)	4 (0.5%)	67 (8.8%)
	計	202 (26.7%)	549 (72.4%)	7 (0.9%)	758 (100%)

「飼養管理指針の認知」と「将来的な検討の必要性」をあわせてみると、飼養管理指針を知っている・知らないにかかわらず、将来的なアニマルウェルフェアの検討を必要とする農家数が、検討不要とする農家よりも多かった。また、飼養管理指針を知らない農家でもアニマルウェルフェアの必要性を認識している農家が 329 件（43.4%）と多い結果であった。

肉用牛の飼養実態アンケート調査

■ 基本事項

1. あなたの農場の所在地（都道府県名）を下線部にご記入ください

⇒ _____

2. 牛の全飼養頭数は、現在何頭ですか（下線部にご記入下さい）

⇒ _____頭

3. 平成23年3月に作成された「アニマルウェルフェアの考え方に対応した肉用牛の飼養管理指針」をご存知ですか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

■ 飼養管理について、お伺いします

I 観察・記録について

問1. 1日1回以上、牛の健康状態を観察していますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問2. 飼養管理（健康状態、病気や事故の発生の有無、治療やワクチン接種の履歴、死亡頭数等）に関する記録を毎日つけていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

II 給餌・給水について

問3. 牛の発育段階等に応じた飼料を給与していますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問4. 毎日、新鮮な飼料と水を十分に給与していますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問5. 毎日、新鮮な飼料や水を給与するため、餌タンクや給水ライン、飼槽・飲水器等の点検・確認を行っていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問6. 飼槽や飲水器が、残渣や糞等で汚れた場合、清掃を行っていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問7. 牛が不自由なく飼料を食べたり、水を飲んだりできていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

Ⅲ 飼養環境について

問8. 暑熱対策を行っていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問9. 寒冷対策を行っていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問10. 牛舎内の空調設備や照明設備等の点検・整備は行っていますか（○は1つ）

- ① () 定期的に点検・整備している
- ② () 使う必要がある際に点検・整備している
- ③ () 点検は行っていないが、壊れたら整備している
- ④ () 点検・整備はせず、壊れたままになっている

問11. 牛舎内の明るさは確保できていますか（○は1つ）

- ① () 照明の設置や窓の開閉などにより確保できている
- ② () 多少暗いものの、牛の活動や管理者が作業を行う分には問題がない
- ③ () 暗いが、そのままにしている

Ⅳ 飼養施設について

問12. 牛の主な飼養方法は、次のどれにあてはまりますか（区分ごとに○は1つ）

(1) 子牛

- ① () 繋ぎ飼い（チェーン）
- ② () 繋ぎ飼い（ロープ）
- ③ () 単飼
- ④ () 群飼
- ⑤ () その他（具体的に：_____）

(2) 育成牛

- ① () 繋ぎ飼い（チェーン）
- ② () 繋ぎ飼い（ロープ）
- ③ () 単飼
- ④ () 群飼
- ⑤ () その他（具体的に：_____）

(3) 繁殖牛

- ① () 繋ぎ飼い (チェーン)
- ② () 繋ぎ飼い (ロープ)
- ③ () 単飼
- ④ () 群飼
- ⑤ () その他 (具体的に: _____)

(4) 肥育もと牛

- ① () 繋ぎ飼い (チェーン)
- ② () 繋ぎ飼い (ロープ)
- ③ () 単飼
- ④ () 群飼
- ⑤ () その他 (具体的に: _____)

(5) 肥育牛

- ① () 繋ぎ飼い (チェーン)
- ② () 繋ぎ飼い (ロープ)
- ③ () 単飼
- ④ () 群飼
- ⑤ () その他 (具体的に: _____)

問 13. 主な飼養方法における牛 1 頭当たりの飼養面積は、次のどれに当てはまりますか
(区分ごとに○は 1 つ)

- (1) 子 牛 ① () 1.0 m² 未満
 ② () 1.0 m² 以上
- (2) 育成牛 ① () 2.25 m² 未満
 ② () 2.25 m² 以上
- (3) 繁殖牛 ① () 3.6 m² 未満
 ② () 3.6 m² 以上
- (4) 肥育もと牛 ① () 2.25 m² 未満
 ② () 2.25 m² 以上
- (5) 肥育牛 ① () 3.6 m² 未満
 ② () 3.6 m² 以上

問 14. 牛舎で敷料を使用していますか (○は 1 つ)

- ① () 使用している
- ② () 敷料の代わりになるもの (牛床マット等) を使用している
- ③ () 使用していない

問 15. 牛舎内の床の状態は、次のどれに当てはまりますか (○は 1 つ)

- ① () 基本的に寝床となる部分などは乾燥した状態
- ② () 全面が過度に湿り、糞尿がたまっていたりする状態

問 16. パドックや放牧地に牛を放していますか (○は1つ)

- ① () 毎日放している
- ② () 毎日ではないが放している
- ③ () パドックや放牧地を有しているが放していない
- ④ () パドックや放牧地が無いので放していない

V. 疾病・外傷等への対応

問 17. 牛の怪我や疾病が発生した場合、迅速な治療等を行っていますか (○は1つ)

- ① () 行っている
- ② () 多少の外傷や症状が軽ければ経過を見て、悪化したら治療している
- ③ () 行っていない

問 18. 外傷や疾病の牛が出た場合に他の牛と分けて管理していますか (○は1つ)

- ① () 重症の場合、単房などに入れて分けて管理している
- ② () 分けていない

問 19. 農場内に病原体等を侵入させないための防疫対策をとっていますか (複数回答可)

- ① () 車両消毒などに必要な防疫施設を設置している
- ② () 踏込消毒槽を牛舎の出入口に置くなどの防疫対策に心がけている
- ③ () 消石灰の散布を行っている
- ④ () 牛舎内に野生動物が侵入しないようにネット等を張っている
- ⑤ () その他 (具体的に: _____)
- ⑥ () 行っていない

問 20. 蹄病予防等のために削蹄を行っていますか (○は1つ)

- ① () 行っている
- ② () 行っていない

問 21. 1年1回以上、削蹄を行っていますか (○は1つ)

- ① () はい
- ② () いいえ

VI. 外科的処置について

問 22. 農場内で、除角を行っていますか (○は1つ)

- ① () 行っている
- ② () 行っていない ⇒ 「問 26」へ

問 23. 除角を行う時期は、主にいつ頃ですか (○は1つ)

- ① () 生後7日以内
- ② () 生後8日以上1ヵ月齢未満
- ③ () 1ヵ月齢以上3ヵ月齢未満
- ④ () 3ヵ月齢以上

問 24. 除角を行う場合、主にどのような方法で行っていますか (○は1つ)

- ① () 焼ゴテ
- ② () 電熱式除角器 (デホーナー)
- ③ () ゴムリング
- ④ () 断角器
- ⑤ () 薬品
- ⑥ () その他 (_____)

問 25. 除角を行う時に麻酔を使っていますか (○は1つ)

- ① () 使っている
- ② () 使っていない

問 26 農場内で、去勢を行っていますか (○は1つ)

- ① () 行っている
- ② () 行っていない ⇒ 「問 29」へ

問 27. 去勢を行う時期は、主にいつ頃ですか (○は1つ)

- ① () 生後7日以内
- ② () 生後8日以上1ヵ月齢未満
- ③ () 1ヵ月齢以上3ヵ月齢未満
- ④ () 3ヵ月齢以上

問 28. 去勢を行う場合、主にどのような方法で行っていますか (○は1つ)

- ① () 外科手術
- ② () 無血去勢法
- ③ () ゴムリングによる去勢
- ④ () その他 (_____)

問 29. 農場内で、断尾を行っていますか (○は1つ)

- ① () 行っている
- ② () 行っていない

問 30. あなたの農場内で、牛に初めて鼻環 (鼻木) を装着するための処置を行うことがありますか (○は1つ)

- ① () ある
- ② () ない ⇒ 「問 32」へ

問 31. 牛に初めて鼻環 (鼻木) を装着するのは、主にいつ頃ですか (○は1つ)

- ① () 生後7日以内
- ② () 生後8日以上1ヵ月齢未満
- ③ () 1ヵ月齢以上

問 32. 子牛が初乳を飲んでいるのを、確認していますか (○は1つ)

- ① () 確認している
- ② () 特に確認はしてないが、母牛と一緒にいるので飲んでいると考えられる
- ③ () 確認していない

問 33. 離乳 (母子分離) を行うのは、主にいつ頃ですか (○は1つ)

- ① () 生後3日以内
- ② () 生後4日以上7日以内
- ③ () 生後8日以上1ヵ月齢未満
- ④ () 1ヵ月齢以上4ヵ月齢未満
- ⑤ () 4ヵ月齢以上6ヵ月齢未満
- ⑥ () 6ヵ月齢以上

Ⅶ. その他

問 34. 管理者が牛に近づいたときの牛はどのような反応をしますか (○は1つ)

- ① () そばに寄って触っても逃げない
- ② () 比較的近くまで逃げないが、一定の距離以上は近づけない
- ③ () 近づこうとすると、遠くからでも逃げる
- ④ () 近づくと威嚇してくる

問 35. 牛を移動させる際に何か道具を使っていますか (○は1つ)

- ① () 使っていない
- ② () ロープを使って誘導している
- ③ () 棒などで叩いて誘導している
- ④ () その他 (具体的に: _____)

問 36. 身繕いできる器具やブラッシングする機会がありますか (複数回答可)

- ① () カウブラシ等を設置している
- ② () 定期的にブラッシングしている
- ③ () ない。ブラッシングも出荷等の特別な時にしかしない

問 37. 将来的に農場での飼養管理を考える際に、アニマルウェルフェアを検討する必要があると思いますか (○は1つ)

- ① () はい
- ② () いいえ

ご協力ありがとうございます。